

5 褥瘡発生率

※褥瘡（いわゆる床ずれ）は看護ケアの質評価の重要な指標の1つとなっています。褥瘡は患者のQOL（quality of life＝生活の質）の低下をきたすとともに、感染を引き起こすなど治癒が長期に及ぶことによって、結果的に在院日数の長期化や医療費の増大にもつながります。そのため、褥瘡予防対策は、提供する医療の重要な項目の1つにとらえられています。より低い値が望ましい。

調査実施日	対象入院延患者数	d 2以上の褥瘡の 新規院内発生患者数	褥瘡発生率
2015年04月	13,096	13	0.10%
2015年05月	13,926	15	0.11%
2015年06月	13,846	6	0.04%
2015年07月	14,077	15	0.11%
2015年08月	14,363	5	0.03%
2015年09月	13,419	8	0.06%
2015年10月	14,289	7	0.05%
2015年11月	14,049	7	0.05%
2015年12月	14,166	20	0.14%
2016年01月	13,955	12	0.09%
2016年02月	13,468	17	0.13%
2016年03月	13,998	6	0.04%
2016年04月	12,814	11	0.09%
2016年05月	13,347	11	0.08%
2016年06月	13,003	10	0.08%
2016年07月	13,730	11	0.08%
2016年08月	13,814	7	0.05%
2016年09月	13,531	10	0.07%
2016年10月	14,026	15	0.11%
2016年11月	14,051	9	0.06%
2016年12月	13,285	7	0.05%
2017年01月	14,083	22	0.16%
2017年02月	13,752	12	0.09%
2017年03月	17,315	11	0.06%
2017年04月	13,755	16	0.12%
2017年05月	13,291	5	0.04%
2017年06月	13,735	13	0.09%
2017年07月	13,774	12	0.09%
2017年08月	13,792	8	0.06%
2017年09月	13,138	6	0.05%
2017年10月	14,386	8	0.06%
2017年11月	14,768	16	0.11%
2017年12月			

(参考 QI 推進事業参加病院の平均値 2014年度 0.09%(前年比-0.03)
2015年度 0.08%(前年比-0.01))